



クラブインフォメーション

発行:(公財)鳥取県スポーツ協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内



TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 令和6年8月 第180号

鳥取型障がい者スポーツ推進事業:倉吉サンリンク・スポーツ



ボッチャ体験の様子

令和6年7月6日(土)、倉吉サンリンク・スポーツ主催の「鳥取型障がい者スポーツ推進事業※1」(県障がい者スポーツ協会委託事業)で「ボッチャ※2」と「ラダーゲッター※3」を県立倉吉養護学校体育館で開催しました。

※1 目的:特別養護学校の学校体育施設を拠点として、特別支援学校の在校生及び卒業生、地域住民が、障がいのあるなしに関わらずスポーツの楽しさを共に味わいながら、体力の向上や豊かな生活の実現、共生社会の実現を目指す。

※2 ボッチャは、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白い球に、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかにジャックボールを近づけるかを競います。

※3 ラダーゲッターは、両端にボールがついたヒモを、ラダー(はしご)に向かって投げるゲームです。ボールがラダーに引っ掛かるとポイントになり、そのポイントを競います。21点先取したプレーヤーが勝ち。

【参加者】 14名(在校生・先生・地域住民)

【指導者】 杉谷哲治さん、桑名優子さん、平井明朗さん

ボッチャは、4グループの総当たり戦で、1試合4エンド、1人2球の持ち球で対戦しました。赤球がジャックボールに近づいたら、すぐさま青球がジャックボールに近づくなど、とても面白い対戦が見ることができました。

ラダーゲッターは、初めて体験する生徒でしたが、回数を重ねるごとに上達し、真剣且つ楽しくプレー出来ました。地域の方とペアを組んで11点以上(ローカルルール)先取するまで行い、ペアを変えて4試合こなしました。

皆さんとても盛り上がり、楽しく体験できました。

誰でもできるスポーツなので、もっと多くの生徒さんに参加してもらえたら嬉しいです。



ラダーゲッター体験の様子

連絡先:倉吉サンリンク・スポーツ事務局 杉谷 哲治
TEL:090-6436-9196 E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp

令和6年度鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会総会を開催しました



総会の様子(倉吉体育文化会館小研修室)

令和6年7月10日(水)、「令和6年度鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会第1回・第2回総会」を県立倉吉体育文化会館で開催しました。

【第1回総会】

令和5年度事業報告ならびに決算について、協議会設置規程の改定について

→令和6年6月11日の(公財)鳥取県スポーツ協会第1回理事会において承認された。

設置規程については、第11条「役員及び委員の任期を選任後2年以内に終了する(後略)」としておりましたが、登録クラブが登録を更新しないことを想定していなかったため、「更新しなかった場合の任期は、当該登録の有効期間の末日までとする。」と変更した。

〈出席者〉

氏名	所属
後藤 弥	一般社団法人ほうきスマイリースポーツクラブ
大藤 翔太	スポねっとちづ
板 真悟	特定非営利活動法人南部町総合型地域スポーツクラブ
片山 敬子	学識経験者
小西 慎太郎	公益財団法人鳥取県スポーツ協会
細谷 慶介	けたかスポーツクラブ
谷口 一真	特定非営利活動法人鹿の助スポーツクラブ
安達 富由樹	青谷スポーツクラブ

【第2回総会】

役員選出について、令和6年度地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業について、認証制度について、スポーツ少年団との連携について

→令和6年度地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業については、県内総合型地域スポーツクラブごとの情報、各市町村の単位スポーツ少年団の紹介(単位団と実施競技のみ)、各市町村のスポーツ推進委員協議会・推進委員会等の一覧を掲載する予定

認証制度については、「部活動・学校連携タイプ」「介護予防タイプ」を想定している。審査料として20,000円～30,000円を想定している。認定有効期間は4年間

スポーツ少年団との連携体制の構築については、日本スポーツ協会は、令和6年度の取り組みとして、スポーツ少年団との連携の方向性を提示し、会議体設置に向けた検討を行う。

<出席者>

氏名	所属
後藤 弥	一般社団法人ほうきスマイリースポーツクラブ
大藤 翔太	スポねっとちづ
板 真悟	特定非営利活動法人南部町総合型地域スポーツクラブ
中西 真穂	鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局スポーツ課
小西 慎太郎	公益財団法人鳥取県スポーツ協会
細谷 慶介	けたかスポーツクラブ
谷口 一真	特定非営利活動法人鹿の助スポーツクラブ
安達 富由樹	青谷スポーツクラブ

令和6・7年度鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会役員名簿

(任期:令和6年7月～令和8年6月)

役職	氏名	所属	所属での役職
会長	後藤 弥	一般社団法人ほうきスマイリースポーツクラブ	代表理事
副会長	小西 慎太郎	公益財団法人鳥取県スポーツ協会	専務理事
副会長	古田 浩	スポねっとちづ	理事長
委員	間屋口 貴仁	特定非営利活動法人地域スポーツ推進協会	副理事長
委員	板 真悟	特定非営利活動法人南部町総合型地域スポーツクラブ	クラブマネージャー
委員	坂田 光史郎	鳥取県中学校体育連盟	理事長
委員	中西 真穂	鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局スポーツ課	主事
委員	西原理 恵	公益財団法人鳥取県スポーツ協会	理事

【準登録クラブ】

	クラブ名		クラブ名
1	けたかスポーツクラブ(鳥取市)	8	あいだクラブ(米子市)
2	青谷スポーツクラブ(鳥取市)	9	NPO法人ウルトラスポーツクラブ(境港市)
3	NPO法人鹿の助スポーツクラブ(鳥取市)	10	スポーツしょい大山(大山町)
4	若桜クラブ(若桜町)	11	奥大山ぶなの森クラブ(江府町)
5	一般財団法人北栄スポーツクラブ(北栄町)	12	Do. スポーツ(日野町)
6	倉吉サンリンク・スポーツ(倉吉市)	13	一般社団法人にちなんスポーツクラブ(日南町)
7	NPO法人やまつみスポーツクラブ(米子市)	14	琴の浦クラブ(琴浦町)

全クラブが一堂に会する機会です。是非参加していただき、クラブが繋がる場として、また、情報共有の場として活用いただけると嬉しいです。

令和6年度県民まるごとスポーツ推進事業：倉吉サンリンク・スポーツ



何処に投げようか考えながら投球、表情は真剣そのもの

令和6年7月13日(土)、倉吉サンリンク・スポーツ主催の「令和6年度県民まるごとスポーツ推進事業：みんなdeユニスポ※1」(鳥取県スポーツ協会補助事業)で「ボッチャ※2」を、小鴨コミュニティセンター(倉吉市)で実施しました。

※1 目的:年齢・性別・障がいの有無にかかわらず気軽にスポーツを楽しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進する。

※2 ボッチャは、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白い球に、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかにジャックボールに近づけるかを競います。

小鴨コミュニティセンターの大会議室にボッチャコートを設置し、3人対3人のチーム戦(6エンドの合計点)で勝敗を決めました。

ジャンケンで先攻後攻を決めた後は、先攻チームがジャックボールを投げて始めます。

自チームが有利になるような場所にジャックボールを投げ、相手が投げにくい作戦を立てたり、ジャックボールの近くに相手チームの球がたくさんあり、得点が取れそうにないと判断した時は、ジャックボールに当ててコート外に出して形勢が悪かったチームが逆転したり、ジャックボールに近い相手ボールの隙間に自チームのボールを置いたり、とても競り合ったゲームで見ている方もとても楽しめるゲームでした。

思った通りの場所にボールを投げることができた時は、皆さんとても嬉しそうで、勝っても負けても満足できる競技です。誰でも気軽に楽しめる競技ですので、是非体験してみてください。

倉吉サンリンク・スポーツでは、「ボッチャ体験会」や「ボッチャ交流大会」も企画しています。興味のある方は事務局まで連絡下さい。



コートラインぎりぎりのせめぎ合いです

連絡先
倉吉サンリンク・スポーツ事務局
杉谷 哲治
TEL:090-6436-9196
E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp

令和6年度県民まるごとスポーツ推進事業：青谷スポーツクラブ



姿勢を整える



音楽に合わせて歩く



バランスを取る

令和6年7月21日(日)、青谷スポーツクラブ主催の「令和6年度県民まるごとスポーツ推進事業みんなdeユニスポ※」(県スポーツ協会補助事業)で、「あおやまるごとスポーツ体験会」を実施しました。

※目的:年齢・性別・障がいの有無にかかわらず気軽にスポーツを楽しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進する。

【指導者】 磯邊栄里さん、山本智美さん

【参加者】 30名

【種目】 ミニトランポリン

最初に正しい姿勢のとり方、膝を伸ばしたまま足裏全体でジャンプする、安全な使い方等を教えていただき、トランポリンの上で、歩く・ジャンプ・バランスを取る、座って柔軟・お尻で歩く等、親子でたくさん触れ合いながら動きました。次にトランポリンを繋げて、四つ這いで歩いたり、ジャンプしたり、走ったりしました。最後は、膨らませた風船を持って曲に合わせて踊りました。

皆さん、普段味わうことができない浮遊感を存分に楽しめたようで親子共に大好評でした。

体験会終了後に、鳥取県栄養士会から、「口からはじまる消化と栄養の物語」というテーマで短時間ではありましたが、口の働きをお話しいただきました。唇を閉じて咀嚼することの大切さ、体の不思議を知りました。



お母さんの背中の上に乗っかる



両腕を水平に上げて肩を回す



音楽に合わせてジャンプ



トランポリンを繋げて四つ這いで歩く



腿を高く上げて歩く



風船を持って曲に合わせて動く

連絡先: 青谷スポーツクラブ事務局 安達 富由樹
TEL: 090-8716-2968 E-mail: xc434323@ya3.so-net.ne.jp

わかさにんじゃ:若桜クラブ



子どもたちに指導中



ライフジャケットを着用



入水です

令和6年7月27日(土)、若桜クラブの定期教室「わかさにんじゃ」で、若桜町内を流れる八東川で川下り修行を行いました。

年長さんから小学生までの男女13名が参加し、森田二郎さん指導の下、思う存分水遊びを楽しみました。

最初に、森田さんから川に入る前にはしてはいけないことや、安全に川下りをするために気をつけること等の指導を受け、ライフジャケットとヘルメット、ゴーグルを装着して川に入り、1列になってスタート地点まで歩きました。

川の底には大小様々な大きさの石があり、コケが付いて滑りやすくなっていたり、深さも急に変化したりして、スタート地点に着くまででも一苦労でした。

最初の何回かは、川の中を覗きながら流れに身を任せてゴール地点まで流されてみました。

所々に保護者の方に立ってもらって、コースを逸れないように見守っていただきました。(大人になって川に入ることになかなかないですね。)

次にビニールボートに2人または3人ずつ乗って下ってみました。(1人特別待遇の子が・・・)

川岸には小さなおたまじゃくしが居て、子どもたちは夢中で探していました。

今日は、子どもたちにとって忘れられない夏休みの1日になりました。

大人も子どもも、お昼からは心地よい疲労感に包まれて眠りに落ちた事でしょう。



プカプカと流され中



大はしゃぎです



ボート独り占めでご満悦



おたまじゃくし探し中



ゴールしたボートをキャッチ



大人も少しだけ楽しんじゃいました

連絡先: 若桜クラブ事務局 前住 孝行
TEL: 0858-71-0253
E-mail: wakasa.club@sirius.ocn.ne.jp